

第8回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会

2017年5月13日(土)～14日(日)

@サンポートホール高松、高松シンボルタワー、JRホテルクレメント高松

ワークショップ 26	
企画名	FPNs 企画第3弾～地域の架け橋となる診療所看護師を育てるには?～
日時	2017年5月14日(日) 9:15～10:45
会場	第10会場 (JRホテルクレメント高松 2F 小宴会場「雅」)
企画責任者	田中 亜紀子 (トータルファミリーケア北西医院)
定員	30名
開催の目的・概要	
<p>【開催の目的】</p> <ul style="list-style-type: none">・それぞれの診療所看護の現状を共有する・診療所看護師養成プログラムを取り入れている診療所での取り組みを知る・参加者が明日から出来る取り組みを考える <p>【概要】</p> <p>「診療所看護師って、何をしているのだろう？」限られた時間のなかで、多くの患者に関わっていく診療所では、看護師の仕事内容が分かりづらく、働いている看護師自身も自分たちの役割を説明することが難しい現状にあります。私たちFPNs (Family Practice Nurse) は、そのような悩みを抱えて全国から集まってきた看護師のグループです。これまで私たちは学会やセミナーに参加するなかで、同様の悩みを抱えつつ手探りで診療所看護を行っている多くの看護師に出会ってきました。「日々の忙しさに流されやすい」「診療所看護師として、どのような役割意識を持ち、看護を行っていけばよいのか?」「家庭医とどのように協働していけばよいのだろうか?」というのが、現場で働く看護師の生の声です。</p> <p>そのようななか、プライマリ・ケア領域を担う看護師を育てようという、独自の養成プログラムや勉強会が各地で行われています。当学会においても、昨年6月に「プライマリ・ケア看護学」のテキストが発刊され、11月の秋季生涯教育セミナーでは、テキストに沿った講座も開講されました。家庭医療の三本柱である「患者中心の医療」「家族志向のケア」「地域包括医療」を進めていくためには、診療所看護師の教育が不可欠であると認識されており、現場で働く診療所看護師が家庭医療を学ぶ足がかりとなっていると私たちも実感しています。</p> <p>このワークショップでは、様々なテーマでグループワークを行いながら、地域の架け橋となる看護師を育てていくためにはどうしたらよいのかを、一緒に考えていきたいと思えます。</p>	